

国際科活動報告

由利高校国際科運営委員会

1 AKITA グローバル人材育成事業

2月9日（金）の午後、県教委の標記事業指定校となっている、本校を含めた県内4つの高校間のオンライン交流が行われ、2年生国際科の生徒全員が参加しました。

過去4年間、本校は県教委「AKITA グローバルネットワーク事業」の指定校の一つとして、課題研究や（オンラインを含めた）国際交流等を積み重ねてきました。

今年度は標記事業の一環として、課題研究、4年ぶりの台湾への修学旅行の他、各種講演やワークショップなど3日間の「由利高グローバルチャレンジ」、秋田杉を活用したうちわ制作や自己肯定感を高めるための特別授業等を実施し、生徒の視野を広げて、国際社会で様々な人々と共生するための第一歩を踏み出せるようにしました。

交流では各校の紹介の他、英語による課題研究報告が2班ずつ行われました。研究内容は勿論、相手に伝わりやすい表現方法などを互いに学ぶことができました。



本校は、学校紹介において4年前に創立百周年を迎えた伝統校であること、部活動が盛んなこと、特色ある国際科の取組について発表しました。課題研究では2班が発表（11月の本校課題研究発表会でも発表）しました。

- ・学生へのストレスについて（ストレスの原因、部活動等、日本と海外との比較研究）
- ・自分らしく生きるとは（ジェンダーに関する、本校生徒、職員へのアンケート等を交えた研究）

国際交流や他校交流など、校外活動の充

実を図り、今後もより質の高い活動に取り組んでまいります。

2 卒業生講話

2月20日（火）の午後、1年生の国際科予定者全員を対象に実施されました。

過去3年間の本校国際科卒業生のうち、県内在住の大学生と社会人、計4名に講師をお願いし、在学中に国際科を選んだ理由と国際科での思い出、課題研究のテーマとそこから学んだこと、進路実現の経緯とアドバイス、などを話していただきました。

卒業生の中には、決して英語が得意ではなかったが頑張りたいと思って国際科を選んだ方もおり、励みになった在校生も多くおりました。課題研究を行う際には、テーマについて焦点化すること、アンケートやインタビューなどを積極的に行うことを助言していただきました。進路実現のため、一年生のうちから定期考査や小テストを大切にすること、クラス全体で学習しやすい環境を作ることなどのお話がありました。

何よりも卒業生が皆、国際科で学んで良かった、良い環境で2年間生活できた、第二外国語として中国語を履修出来て役立った、などと声を揃えており、高校生活をやりきったことが今の進路先での充実した毎日につながっている様子が印象的でした。



講話後、部活動と学習の両立法、大学での第二外国語学習などに関する質疑が在校生からあり、定期考査を翌日から控えてのタイムリーな講話により、国際科で学ぶ決意を新たにしていました。